



6月 保育の広場

R7. 6. 2

那珂こども園



今月は、梅雨の時期になかなか外に遊びに出られないので、親子で楽しめる遊びを紹介したいと思います。雨の日は外で遊べない分、家の中で親子一緒に楽しい思い出を作るチャンスです。

<手形アート>

手形アートは、特別な道具を用意しなくても始められる上に完成した作品は成長の記録として大切に残せる点で魅力的です。特に小さい子どもの手形や足形はこの時期にしか残せない為、記念品としてもおすすめです。

子どもの手の大きさや形を生かして、世界に一つだけの作品を作ってみましょう。

★作り方の手順★

1. 材料の準備をする。
2. 手形を押す。
3. 装飾や仕上げをする。
4. 部屋に飾る。



★★ポイント★★

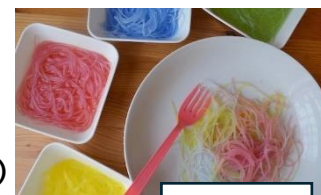
作品が完成したら、リビングに飾ると雨の日の楽しい思い出がよみがえります。手形アートは、親子の笑顔が増える素敵な活動です。雨の日だからこそ、じっくり時間をかけて楽しんでみてはいかがでしょうか？

<感触遊び>

感触遊びとは、ドロドロ、べたべた、サラサラ、冷たい、温かい、などのいろいろな感触を手足で感じながら、握ったり丸めたりちぎったりすることで、脳を働かせて五感を刺激していく遊びの事です。感触遊びは、身近な物でできる遊びで、粘土遊びもその一つです。子どもの小さな手や足でその感触を味わっていく、これが大切なのです。手は第二の脳、足の裏は第二の心臓と言われています。そんな重要な役目を担っている手や足ですが、手足の皮膚を通じて感じる『触覚』には乳幼児期に大切な働きがあります。那珂こども園でも、泥遊びやフィンガーペイント、小麦粉粘土、スライムなど様々な感触遊びを楽しんでいます。今回は、様々な感触遊びの中から家庭でも楽しめる『寒天・春雨遊び』を紹介します。

★遊び方の手順★

1. 材料の準備をする・・・寒天、春雨適量（市販の作り方にそって作ります。）
水（水の量を調整して、硬さに変化をさせてもいいです。）
食紅（←あるときれいです。）
2. 箸やスプーンを使ってゼリー屋さんやラーメン屋さんやうどん屋さんなどの『ごっこ遊び』に発展しやすいです。大胆にぐちゅぐちゅした感触を楽しみましょう！



春雨遊び



寒天遊び



<サンキャッチャー作り>

サンキャッチャーとは・・・「幸せを呼ぶ」インテリアとして人気です。多角形にカットされたサンキャッチャーに太陽光が当たると、きらきらとたくさんの小さな虹を生み出すことから「レインボーメーカー」とも呼ばれています。「光（＝幸せ）を掴む」「虹を生み出すことで、幸せを運ぶ」という意味が伝わるサンキャッチャーは、どこか幻想的で見ていてだけでパワーが貰えそうです。

★作り方の手順★

1. 材料を準備する・・・プラスチックの蓋（プリングルスの蓋・ハーゲンダッツの蓋等）
液体のり（透明のり）
ビーズやおはじき等（透明の物だと光を通すのできれいです。）
糸・テグス（吊るす用）
2. 蓋に液体のりを入れる
3. 蓋を多方面に傾けて、全体に液体のりを広げる
4. ビーズやおはじきを好きなように並べる
5. 5日前後（気温によります。）乾燥させる
6. 完全に乾いたら、そっと蓋から剥がし取る（裏側も乾いているか確認する）
7. 一か所穴を開け、糸を通して完成！好きな所（光の当たる場所）に飾りましょう！



手作りの活動には、子どもの創造性を育て、家庭の絆を深める大きな力があります。

忙しい日常の中でも、ほんの少しの時間を工夫して親子で一緒に何かを作る時間を持つことで、たくさんの笑顔が生まれるはずです。

親子での工作は、ただ物を作るだけでなく、心をつなぎ、学びを深める特別な時間です。

失敗しても大丈夫！『一緒に楽しむこと』が一番大切です。

